

みなさんの思いを町へ届けます

辰野町 議会だより

No.73

ももせ
百瀬の滝を
登りながら
心ち龍に
ふりぬぐま



今月の記事

念願の辰野西学童クラブ建設へ

- 3月定例会 …… 2P
- 一般質問 …… 10P
- 編集後記 …… 16P



辰野町議会

重点プロジェクト始動

「辰野の未来を創る」積極的予算

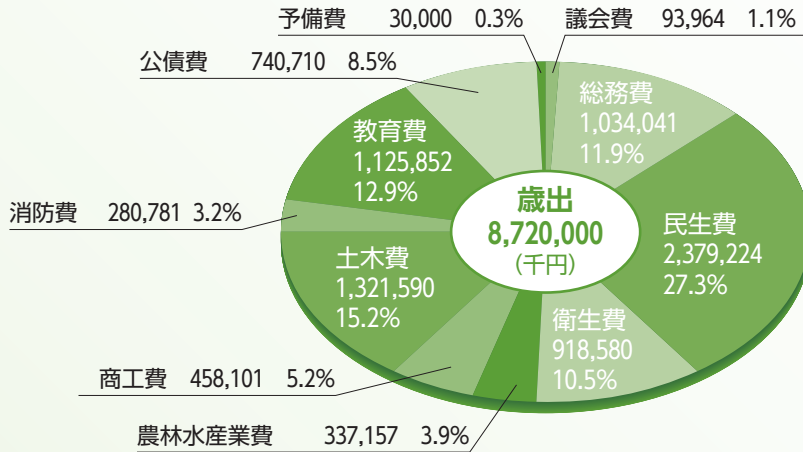
3月定例会は、3月4日から19日まで開催され、新年度予算等の町提出35議案と、議員提出1議案を審議、いずれも可決しました。

町では、新年度予算について、4つの重点プロジェクトと4つの重点施策の推進を目指し、「辰野の未来を創る」将来への投資となる『未来投資型予算』である」としています。

企業誘致に向けての北沢工業団地東の遺跡調査、全小中学校・保育園へのエアコン設置、辰野西学童クラブ新築などの大型の新規事業を盛り込んだ一般会計予算は、87億2千万円となり、過去2番目の大型予算となりました。

※特別会計については各常任委員
会報告をご覧ください

平成31年度一般会計歳出目的別内訳



一般会計

87億2,000万円

(前年度比+4億1,000万円、+4.9%)

特別会計

86億5,000万円

(前年度比△727万円△0.1%)

総計

173億7,000万円 (前年度比+4億274万円、+2.4%)

歳入

財政調整基金から6億6千万円
町債は6億4千5百万円を繰り入れ

町税や国の交付金、国支出金等が増、特別交付税等は減となり、繰入金、町債の増により、不足財源を補います。

◇町税収入 23億6364万円、前年比6873万円、3.0%増です。

◇地方交付税 25億7400万円、前年比4200万円、1.6%減です。

◇国・県支出金 10億4691万円、前年比6661万円、6.8%増です。

◇繰入金 7億3516万円

円、前年比1億8420万円、32.9%増です。

◇町債 6億4510万円、前年比8710万円、15.6%増です。

減債基金と財政調整基金、繰越金のあり方は。

減債基金は用途が限定され、起債発行時に何%かを積み増すことが理想。財政調整基金は用途の限定がない。繰越金は当初予算の5~10%が好ましいとされており、当町は3億円を目安としている。

歳出

全小中学校・保育園にエアコン設置

新は主な新規事業

議会費

9396万円、前年比102万円、1.1%増です。

問

増額の内容は。

議員改選の費用と、研修費の増額。

「ど真ん中プロジェクト」

推進へ

総務費

新ど真ん中プロジェクト推進
新緊急地震情報システム更新
新移住定住推進業務委託
新固定資産課税客体適正把握
10億3404万円、前年比

3232万円、3.0%減です。
協働のまちづくり支援金、
若者チャレンジ応援、たつの
未来館の管理運営、家庭用災
害備蓄品セット斡旋等を継続
します。



ど真ん中作戦会議

問 地域おこし協力隊員は。
答 新規隊員は、新たに地域
ブランド創出活動、農業によ
る地域活動等に従事する。
問 移住定住促進協議会負担
金の内容、川島地区の空き家
バンクの状況は。
答 空き家改修の工賃の一部
を負担。川島地区の空き家は
掘り起こしが必要。
問 マイナンバーカード簡単
登録手続きキャンペーンは。
答 キャンペーンで391人
登録。専用窓口設置を検討。

貧困対策引きこもり予防に 子どもの居場所づくり推進

■ 民生費

●新保育園へのエアコン設置

●新東部保育園トイレ洋式化

●新子どもの居場所づくり事業
23億7922万円、前年比
8770万円、3.8%増です。

障がい者自立支援、結婚支
援、子育て支援、社会福祉協
議会への支援等を進めます。

問 婚活支援は民間のネット
ワーク利用が活発だが。

答 県のネットワーク利用等
があり残していきたい。

問 奉仕団のあり方検討は。

答 区長会・女団連や公募も
含めて検討する。奉仕団内部
での検討も進んでいる。



見直し進む春季訓練

問 町社協の活動が期待され
ている。補助金のあり方は。

答 町社協も含めて庁内連絡
会でも検討していく。

問 地域活動支援センターの
指定管理のあり方は。

答 障がい者福祉を含めて町
社協の事業を上げられないか
協議したい。

問 上伊那成年後見センター
のあり方は。

答 利用者は増加、市町村に
支部的な組織を置く方向。

問 子どもの居場所づくり推
進事業は。

答 貧困対策や引きこもり予
防、社会で自立できる子ども
の育成を目指す。小学校区位
で考えている。社協の学習・
生活支援とタイアップする。

特殊詐欺被害防止に 機器設置費の補助へ

■ 衛生費

●新肝炎ウイルス検査事業

●新緊急風疹抗体検査事業

●新特殊詐欺被害防止機器補助

●新ごみ収集車更新

9億1858万円、前年比
1億719万円、10.4%減
です。

切れ目のない妊娠・出産・

育児支援、こころの健康づく
り、自殺対策、がん検診等の
各種検診、ごみの減量化に取
り組みます。

問 24時間健康相談事業中止
への対応は。

答 インターネット等の利用
が進み、県の無料相談#80
00番の利用等を促したい。

問 医療費を抑えるために検
診の受診率を高める対応は。

答 町では低料金にしてい
る。保健師が電話で勧め、検
診は12月にも実施する。

問 町霊園に合葬墓建設は。

答 霊園の基礎調査を行って
おり、需要等見極めていく。

問 特殊詐欺防止機器設置補
助は。

答 高齢者世帯の電話取り換
え等の費用の一部を補助。

6次産業化・農家民泊の推進 次世代農業者への支援

■ 農林水産業費

●新地域おこし協力隊による川

島地域活性化推進事業
3億3716万円、前年比
98万円、0.3%増です。

食の革命プロジェクトや地

域食材加工設備への補助、地
域おこし協力隊の活動等で、
6次産業化や農家民泊を支援
します。農業次世代人材育成
や有害鳥獣対策を進めます。



食の革命プロジェクト発表会

問 そば・大豆刈取補助は。

答 オペレーター世代交代、
担い手育成を目指している。

問 土づくりセンターの設備
は老朽化し、赤字だが。

答 僅かながら出荷量は増え
ているので継続していく。

問 森林位置情報GPSタブ
レットとは。

答 山林の中で位置や森林簿
の内容を確認できるシステム。

企業相談強化へ 相談員の増員

■ 商工費

●新ほたる水路泥溜改修工事

●新町観光パンフレタ作成

●新休眠不動産見学会相談会

●新企業ガイドデータ作成

●新求人情報サイトリニューアル
4億5810万円、前年比109.3万円、2.4%増です。

企業相談員の増員、産業界本市出展補助、商工業誘致振興補助等、地元企業を支援します。観光資源の新たな活用や地域コーディネート、起業支援を進めます。

問 企業相談員増員の内容は。
答 ものづくり補助金のアドバンス等を手掛ける。

企業用地確保へ

北沢東遺跡発掘調査へ

土木費

●新企業誘致に伴う遺跡調査
●新危険ブロック塀等撤去補助
13億2159万円、前年比1億5861万円、13.6%増です。

●町道の改良（宮木林ノ下線他）・舗装・改修工事を進めます。橋梁定期点検、橋梁補修設計、道路網・路線計画策定、駅前地区街なみ環境整備事業推進、荒神山球場改修などに取り組みます。

問 移住定住奨励金の利用状況は。
答 28年度44件が30年度59件で、増加傾向にある。

問 除雪委託の機械設備費は。
答 機械設備リース料の75%を含んでいる。



企業用地候補の北沢東地区

消防費

2億8078万円、前年比87.6万円、32%増です。
上伊那広域消防負担金や町消防団への交付金などです。

辰野西学童クラブの新築

小学校のトイレ洋式化

教育費

●新たなのの学び環境情報発信
●新荒神山球場受変電設備更新
11億2585万円、前年比2億7216万円、31.9%増です。

学校教育関係では、ALT

3名の配置、ICT教育のための機材の配備、ほっとサポートなどの配置、小中学校のホームページ更新等を行います。

辰野西学童クラブの新築、小学校（辰野東・川島）トイレの洋式化をはじめ、施設の整備・改修を進めます。小中学校エアコン設置工事は、平成30年度予算を31年度に繰り越して施工されます。

生涯学習関係では、公民館、青少年健全育成、町民会館、図書館・美術館・スポーツ公園の管理運営、文化財保護等に取り組みます。町民会館のホール空調設備を改修します。

問 ICT教育の機材は。
答 数年で陳腐化するのでリース対応。3クラスに1セットで全員が使える。バーチャルに偏重しないことが大事。

問 特別支援学級への対応は。
答 自閉症、情緒障がい児が増えている。8人1学級が基準。増加の要因は不明。

問 学童クラブのスタッフは。
答 1年後の会計年度任用職員制度に合わせて待遇改善を

検討する。

問 小野図書館の今後は。
答 利用者激減のため廃止の方向。図書を置くところは別に考えていきたい。建物の活用は別に検討する。

問 南信柔道大会のあり方は。
答 「ほたる大会」として町が始めたので手を引くのは難しい。

意見 記念大会等を機に見直しの必要があるのではないかと



南信柔道大会

問 分館活動と子育て支援、介護支援などの連携は。
答 男性の参加者少ないなどの課題がある。

意見 分館と地区社協との連携等、保健福祉課・教育委員会・町社協も意識して取り組みを。

公債費

7億4071万円、前年比93.6万円、1.3%増です。

●予備費
前年同額3000万円です。

条例改正の主な内容

○使用料条例の一部改正

○個人情報保護条例一部改正
（以上2件、総務産業常任委員会報告参照）

○介護保険条例の一部改正

○福祉年金条例の全部改正
（以上2件、福祉教育常任委員会報告参照）

○特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部改正

●町長・副町長の給料の減額率7%を3%に変更する。

○議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

●議員が長期活動休止する場合の報酬減額、特別委員会委員長の報酬を定めるもの。

○町営バス設置条例一部改正
●飯沼線を辰野駅まで運行を延ばすなどの変更するもの。

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

○水道の布設工事監督者の配置基準等に関する条例の一部改正（略称）

以上、使用料条例を除き全員一致で可決。使用料条例については下表参照。

平成30年度

各会計補正予算について

○平成30年度一般会計等の補正予算10件を可決

・一般会計

保育園空調設備設置工事設計業務委託料

小中学校エアコン設置に伴う

高圧受変電設備工事

・その他（上水道事業会計、辰野病院事業会計、公共下水道特別会計、国民健康保険特別会計等）

その他の議案と主な内容

○契約の変更1件を可決

・町道61号線工事の変更契約（増額）を可決

○指定管理者の変更を承認

・ふるさと農村公園（かやぶきの館等）、信州フューチャーセンターの指定管理

者TUG BOATの法人格の変更（一般社団法人から株式会社へ）

○固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

・委員3人中、任期満了の川村和康氏（再任）の選任に同意。

○農業委員会委員任命に同意

・任期満了に伴い、一ノ瀬律生、小澤さよみ、福島正一郎、瀬戸真一（以上新任）、中村良治、原美子、新村幸子（以上再任）の各氏の任命に同意。

報告事項と主な内容

○損害賠償に関する専決処分

の報告

陳情について

・下表のとおり

議員発議による意見書

○全国知事会の「米軍基地に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書

陳情の採択に基づいて、議員発議により意見書が提出・可決されました。

●議案第16号「辰野町使用料条例の一部を改正する条例について」に関する討論要旨

<p>〈議案に反対：根橋〉 総括質疑において、引き上げの算出根拠と増収分の金額について、総務産業常任委員会に提出するよう求めたが、算出根拠は口頭説明のみで十分でなく、増収分がどの位になるのかも不明であった。スポーツ施設や町民会館利用者からは使用料引き下げの要望が出ており、町民の願いに逆行している今回の使用料改正に反対する。</p>	<p>〈議案に賛成：小澤〉 公の施設の使用料は、受益と負担の明確化を位置付け、行政サービスに対する「公平性・公正性」を確保するため、見直しが行なわれた。見直しに際して、過去3年間の運営経費等から算出した原価に必需性等、性質別負担率を乗じて算出した「使用料の目安」と現行使用料を比較できる計算シートを作成し、改正案が提出されている。</p>
<p>※採決の結果は次のとおり。（議席順） 賛成：小澤・向山・熊谷・山寺・篠平・中谷・宇治・成瀬・宮下・垣内・堀内 反対：瀬戸・根橋</p>	

●陳情の審議等の結果

件名	提出者	委員会審査	本会議		
			賛成	反対	議決結果
1 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める	日米地位協定を見直す会	採 択	12	1	採 択
2 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	上伊那地区労働組合連合会	不採択	5	8	不採択
<p>〈不採択に反対：向山〉 労働力の流動化により、非正規労働者が4割を超え、ワーキングプアと呼ばれる年収200万円以下の労働者が4人に1人となった。賃金の改善には、他の先進国と同様に、全国一律の最賃制度にして引き上げる必要がある。最賃引き上げに対する中小企業対策は、国や巨大な内部留保をしている大企業が対応するべき課題である。</p>	<p>〈不採択に賛成：宮下〉 政府は中小企業に対する支援策を拡充すべきとあるが、現時点では中小企業、小規模企業は最低賃金を1000円以上に引き上げた場合、やって行けなくなるのが現実。都会と地方の生活費を比較した場合、相当の格差がある中で、全国一律にすることは難しい。地方の中小企業の支援策を先行し、改善されたら最低賃金を上げるべき。</p>				
3 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	上伊那地区労働組合連合会	不採択	5	8	不採択
<p>〈不採択に反対：根橋〉 過去三回の消費税負担の大半は、法人税の減税で相殺され、社会保障は充実するどころかむしろ負担は増えている。雇用統計の改ざんにより、景気がむしろ後退していることがはっきりした。また、インボイス制度の導入により、零細企業や個人事業者は経営の危機を迎えようとしており、消費税増税は反対。陳情の採択に賛成する。</p>	<p>〈不採択に賛成：小澤〉 現在の日本は、少子高齢化による現役世代の減少と高齢者の増加という大きな問題を抱えている。現役世代の減少は税金や保険料などの国の収入を減らし、高齢者の増加は医療費をはじめとする社会保障費を増大させている。この増え続ける社会保障費の財源を確保することが消費税増税の目的の一つであり、消費税増税は必要。</p>				
4 奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	日本熊森協会	採 択	13	0	採 択
<p>※賛否が分かれた採決（1、2、3）の結果は次のとおり。（いずれも議席順） 1について 採 択に賛成：小澤・向山・熊谷・山寺・篠平・宇治・成瀬・瀬戸・根橋・宮下・垣内・堀内 反対：中谷 2について 不採択に賛成：小澤・熊谷・山寺・篠平・中谷・成瀬・宮下・堀内 反対：向山・宇治・瀬戸・根橋・垣内 3について 不採択に賛成：小澤・熊谷・山寺・篠平・中谷・宇治・成瀬・宮下・垣内・堀内 反対：向山・瀬戸・根橋</p>					

委員会審査から

総務産業常委員会

- 予算審査
- 現場審査
- 町長への要望事項
- 条例等審査
- 陳情審査



● 特別会計予算審査

■ 上水道事業会計

総額 6億4245万7千円、前年比6341万円、9.0%減です。

問 羽北地区水源調査業務委託で新たな水源調査を行う理由は。

答 与地辰野線の配水管布設や今後見込まれる北沢東工業団地への配水を見込み地下水の水源を調査するものである。

■ 簡易水道特別会計

総額 4199万3千円で、前年比1270万7千円、43・4%増です。

問 上水道への統合のため簡易水道会計としては、この予算が最後になるか。

答 そのとおりである。

■ 公共下水道特別会計

総額 9億1722万円で、前年比2602万円、2.8%減です。

問 未接続家庭に対し訪問勧誘を実施することで、職員を増員を考えているか。

答 現状の職員で班編成し接続促進にあたりたい。

問 特定環境保全公共下水道特別会計

総額 1億4250万5千円で、前年比7261万2千円、33・8%減です。

問 農業集落排水処理施設特別会計

総額 1億852万7千円で、前年比325万2千円、2.9%減です。

問 管路結合と経営統合についての計画は。

答 32年度から沢底地区の管路結合を行い、次に北部地区、下横川地区と実施するが、北部地区と上横川地区は地理的条件により管路結合が出来ない。経営統合は32年4月に実施する。

問 地域情報告知システム特別会計

総額 1612万円で、前年比323万7千円、16・7%減です。

問 告知システム基金積立金は毎年必要か。

答 31年度385万円積み立てると合計480万円になり、このシステム終了時に必要な基地撤収費用を賄えるので今年度限りである。

以上特別会計6議案は、全員一致で可決すべきものと決しました。

● 予算に関する現場調査

3月15日、次の4カ所の現場調査を実施しました。

- ① 北沢東地区沢尻東原遺跡発掘調査
- ② 平成31年度社会資本整備総

合交付金事業 町道155

2号線外3工事

③ 県道与地辰野線配水管布設工事

④ 沢底配水管布設工事

● 町長への要望事項

■ 使用料条例の一部改正を審査する中で減免措置の明確化を

答 使用料の改正にあわせて減免規定も見直しをしており、2020年4月1日から新たな規定を予定している。

減額・免除の適用にあたっては、本来の目的や必要性を考慮し、可能な限り統一を図る必要があると考えている。現在、町民会館、パークセンター、ふれあいは減免措置がなく、体育施設は使用料及び照明の減免措置を行っている。今後、各施設の利用者がより分かりやすく公平な基準を作成できる様、作業を進めている。

■ 個人番号の利用範囲拡大につき、職員の取り扱いに関する規定等を設け、安全管理を徹底されたい

答 個人情報を取り扱う事務の範囲、事務取扱担当者等を明確化した取扱規程の策定や、取扱担当者に対する教育研修の実施、監査計画の作成を早急に対応する。

■ フューチャーセンターの運営状況、利用状況の確認を

答 利用者は、3月8日現在で、イベント関係は約2100人、会議関係は約540人、カフェは約1400人、コワーキングは約230人の利用がある。

平成29年11月に若者によるチャレンジショップ、企業支援として、カフェの運営と施設の受付業務を行ってきたが、カフェの運営者が今年2月からは新たな体制を整えてスタートしている。



フューチャーセンター

条例等の審査

■ 使用料条例の一部を改正する条例

施設の老朽化に伴う管理運営コストの上昇と10月からの消費税増税を見据え使用料金を改正するものです。

問 積算根拠を明確にできないか。

答 3力年の施設の経費を調べ、施設をリニューアルしたところは使用料を上げ、古い施設に関しては据え置いた。体育施設については近隣市町村との差も考慮した。

問 町内住民と町外住民の施設利用割合はどうか。

答 町内が圧倒的に多いが、ドームに関しては諏訪地方の利用が多い。町民会館は学習室、ホール共に4分の3が町内利用者である。ホールについては500人以上1000人未満といった場合に利用される。

問 使用料の減免措置はどのように決められているか。

答 体育施設の場合、体育協

会に加入している団体が対象である。ただ全体で統一されている訳ではない。

■ 辰野町個人番号の利用に関する条例の全部を改正する条例

平成29年から開始となった情報提供ネットワークシステムによる情報連携が始まり、

規定をより細かく定めることが求められてきました。今回更なる住民の利便性の向上及び行政事務の効率化を図るために条例の全部改正をするものです。

問 個人番号の情報漏洩防止に対して規定はあるか。

答 現在規定はない。取扱規定の策定を進めていきたい。

問 条例改正により庁舎内の業務ほどの程度効率化されるのか。

答 所得証明の提出が不要になるなど住民、行政双方にとって便利になるが、全体の把握はこれからである。

以上条例2議案は、賛成5、反対1で可決すべきものと決しました。

陳情審査

「全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求める陳情書

意見

- ① 悪いことは言っていない。賛同すべきである。
- ② 日米地位協定は時代に合わなくなってきた。
- ③ 全国知事会の提言内容は妥当である。
- ④ 主旨は分かるが、日本全体のことを考えると北朝鮮の核兵器等の問題があり賛同できない。

審査の結果

賛成5、反対1で採択すべきと決しました。最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情書

意見

- ① 最近の人手不足により現実には最低賃金より高い賃金が支払われている。
- ② 都会と地方では生活費にか

なりの差がある。

- ③ 日本全体でみた最低賃金を引き上げるべきだ。
- ④ 最低賃金を1000円に上げてもこれにより経済が良くなるとは思えない。

不採択にすべきと決しました。

審査の結果

賛成1、反対5で国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書

意見

- ① 国家予算、地方予算はすでに10月から10%で動き出している。特に教育予算は今から戻せない。
- ② 消費税は15%にすべきである。
- ③ 富裕層、大企業に自分の負担を求めるときで、消費税は上げるべきでない。

富裕層、大企業に自分の負担を求めるときで、消費税は上げるべきでない。

審査の結果

賛成1、反対5で不採択にすべきと決しました。

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に伐採を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

意見

- ① 人の手の入らない奥山は、自然林にすべきだ。

審査の結果

全員一致で採択すべきものと決しました。

JR 東日本塩尻駅との懇談

平成31年2月19日

役場会議室において塩尻駅長、塩尻駅マイスター及びまちづくり課長と議員全員で懇談。辰野線の位置付けについてお聞きしたところ、「今後利用者減が予想されるが、高校生やお年寄りの移動手段を担っていく」とJR側からの話がありました。委員からは、辰野線の管理が塩尻駅へ一本化され、JRとのコミュニケーションがなくなった事や、高齢者の自動券売機の使い方、岡谷辰野間のお昼時のダイヤ増便、線路脇の雑木の撤去などの要望が出され、今後も辰野線が安心して使いやすい路線であるよう、定期的に懇談を要望する等、意見交換を行いました。

福祉教育委員会

- 予算審査
- 条例等審査
- 現場調査
- 委員会視察



● 特別会計予算審査

■ 国民健康保険特別会計

健康ポイント導入
特定検診受診などで

総額20億8949万円、前年比68.45万円、3.4%増です。平成30年度から、都道府県が国保運営に参画、財政運営の主体となり、財政基盤強化が図られました。しかし、高齢化や医療の高度化、高額薬剤の保険適用等により、医療費は

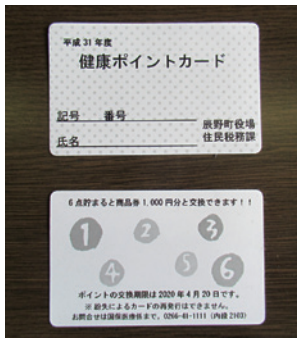
増加し、国保財政を圧迫しています。県と連携した医療費の適正化が求められています。

31年度予算は、県から示された、国保事業費納付金額に基づき、予算総額を見込みました。歳入では、国保税3億6000万円、県支出金15億8887万円を見込み、一般会計繰入金を1億2266万円、基金繰入金を1600万円としました。

健康寿命延伸、医療費抑制などを図るために、健康ポイント制度を導入します。

問 健康ポイント制度とは。

答 特定検診受診、がん検診受診、健康教室参加などでポイントを付与し、辰野町共通商品券に換えられるもの。



健康ポイントカード

問 高額医療費が3890万円余増えているが要因は。

答 入院等で一定額を超えた部分が高額医療費扱いになる。また、心臓手術や脳外科手術など受けると、一人でも高額な医療費が必要になる。それらを見込んだの予算となっている。

■ 国民健康保険診療所特別会計

総額643万円、前年比13万円、19%減です。

国民健康保険が運営する第一診療所、川島診療所は各週1回午後からの診療を行っています。患者数の減少が続く、診療収入の減収による歳入不足分は、国保会計を通して、一般会計から90万円、国保会計から40万円を繰入れます。

意見 町委託医師の確保が難しくなった場合どうするか、地元とも相談しながら検討を進めておく必要がある。

■ 後期高齢者医療特別会計

総額2億9255万円、前年比852万円、30%増です。

県後期高齢者医療広域連合が運営主体で、町は保険料の徴収、資格の得喪手続の窓口

業務を行っています。

■ 町立辰野病院事業会計

訪問診療を拡充
経営改革に外部人材の登用

収益的収入は21億2611万円、前年比1578万円、0.7%の減です。その内、入院

収益は増で、外来収益は減です。収益的支出は22億4826万円です。また、資本的収入は1000万円、資本的支出は2億1261万円です。一般会計からの繰入金は、収益的収入・資本的収入合わせて4億6700万円、前年比1000万円減です。

院長が「地域の方々のニーズ最優先」を方針に掲げ、在宅復帰支援、訪問診療の拡充、在宅支援病院の取得を目指し、経営改善を進めると説明がありました。

問 事務部門の外部人材は。

答 公立病院の経営改革に実績のある方に来ていただく。辰野に合う形で働いてもらう。

問 在宅支援病院を目指すという目標はレベルが高いが、期待も大きい。

担当医師の熱意があり、先ず実績を積みたい。訪問看護ステーションを病院の体制の中に組み込み、病棟スタッフとの意識共有も進める。会計は32年度から一体化する。

問 開業医も少ない中で、病院との連携は。

答 医師会の月例会で情報交換している。かかり付け医からの紹介・受入れもある。

問 社会的入院受け入れとは。

答 在宅で家人が疲れたり、都合がある場合に一時的に入院を受け入れていく。

問 ジェネリック医薬品の使用状況は。

答 現在13%位で非常に低い。院長も注目しており、医師の意識改革も必要である。

■ 介護保険特別会計

生活支援コーディネーター
地域支え合いの舵取りに

総額19億3184万円、前年比1億1802万円、6.5%減です。

第7次介護保険事業計画の2年目で、介護保険事業の健全運営と地域包括ケアシステ

ムの推進を図ります。

保険料は据え置きですが、消費税引き上げに伴う低所得者への軽減強化が行われま
す。サービス給付費の大幅増
は、「ぎりとう」利用者の増
が大きな要因です。

問 「ゆい」廃止の理由は、

答 地区毎にサポーターを養成・配置する計画だったが、バラツキ大きく、マッチング難しくなった。サービスが制
度化され、近所の気安い手伝
いが難くなったとの声も。

問 地域で支え合うというが、
役員が毎年交替したり、地域
の格差が大きいのでは。地区
介護予防事業どう展開するか。

答 地区社協があってもふれ
あいサロンに特化しているこ
とが多い。まず地域でのニ
ーズ調査と組織を作ることか
ら。生活支援コーディネー
ター2〜3人を養成し、モデ
ル地区を担当して、地域での
舵取りを期待したい。

問 生活支援コーディネー
ターの養成は、

答 生活支援サポーター等の

中から人選し、講習を受けて
いただく。

問 認知症へのケアは、

答 グループホームは要支援
2から入れるが月額およそ18
万円はかかる。順番待ちはあ
るが、皆に手が届くわけでは
ない。特養は要介護度3から
で認知症枠少ないが、認知症
で待機の人は少ない。

問 認知症カフェの状況は、

答 月1〜2回実施。他町村
より多いが、単価低くこれ以
上増やすのは難しい。
以上、特別会計予算5議案
は全員一致で可決すべきもの
と決しました。

● 予算に関する現場調査

3月15日、次の3カ所の現
場視察を行いました。

- ① 辰野西学童クラブ
ラブ建築工事
- ② 辰野東小学校
1階トイレ改
修工事
- ③ 荒神山スポー
ツ公園受変電
設備更新工事



現在の辰野西学童クラブ

「老人への福祉年金の支給」
から、「高齢者の長寿を祝い
健康寿命の延伸の意識の高
揚を図る」もの
となつている現
状にあわせるた
めの改正。
以上2議案は、
全員一致で可決す
べきものと決しま
した。

● 条例等の審査

■ 介護保険条例の一部改正

介護保険法施行令が一部改
正されることに伴うもの。介
護保険料の11段階の内、低
所得者層の1〜3段階につ
いて、消費税引き上げに対応
して、31年10月以降さらに低
減化するもの。これによる
不足額約1千万円は国2分
の1、県・町各4分の1で補
填し、町一般会計から介護保
険特別会計へ繰入れられる。

■ 福祉年金条例の全部改正

高齢者人口が増加し、元氣
な高齢者の割合が増えてお
り、高齢者訪問の目的が、
「老人への福祉年金の支給」
から、「高齢者の長寿を祝い
健康寿命の延伸の意識の高
揚を図る」もの
となつている現
状にあわせるた
めの改正。
以上2議案は、
全員一致で可決す
べきものと決しま
した。

委員会として町長へ 町社会福祉協議会のあり方提言書提出

平成31年4月10日

福祉教育常任委員会は昨年来、町社会福祉協議会への町からの負担金や会員に対する会費徴集の
位置付けなど住民の声も踏まえ、その実際とルールが分かりにくい点があるとして議論を重ねて来た。

折しも、町からの負担金の追加議案が12月定例会に示されたこともあり、町社協の現状を聞きな
がら意見交換を行った。(12/20)

続いて、箕輪町・南箕輪村両社協に出向き活動実態や経営状況等を見聞した。(1/21)

この訪問視察の分析と三社協の比較を整理する中で、改めて町当局（保健福祉課長）と話し合い
実施。(2/13)

更には町社協（事務局長・次長）との意見交換を行う中で改善要望を実施した。(2/20)

これら一連の取り組みから、町社協の経営課題等が鮮明になってきたため、町長に対して「町社
会福祉協議会のあり方についての提言書」を4月10日に提出した。

主な提言内容は、

- (1) 定款見直し (2) 財務管理 (3) 町との関係性
- (4) 事業別採算制 (5) 組織体制 (6) 人材育成
- (7) 意識改革 等

時間がかかる内容であるが事務局長体制が刷新されたのを機に、
経営改善・意識改革が進むことを期待したい。



企業訪問に期待しているが町長の思いは

町長 三現主義(現場・現物・現実)で状況把握し支援協力体制の構築に繋げたい



なかや みちみち 議員
中谷 道文

問 新設の企業支援室の設置状況や、新年度に向けての企業振興対策の取り組み計画は。
町長 まちづくり政策課と産業振興課から各1名、民間コーディネーターの専門家1名の合計3名で構成している。訪問や聞き取り、相談支援活動を進めており、町として

はどのような支援協力が出来るのかといったスタンズで事業を展開中。
課長 北沢工業団地の早期完成と連動した企業誘致活動の展開と、企業訪問で得た町内企業のデータを冊子化し、工業メッセ対応を強化。
後継者不足の支援業務の強化に努め、町内企業者に寄り添った活動を展開したい。

今後のご真ん中作戦は

問 日本の中心「ご真ん中」作戦についての様な検討が進み、今後予算等はどう対応するのか。
課長 経過としては、「ご真ん中」作戦会議が3回開催された後、「ご真ん中」に集まる会が開催されるグループと9つのプロジェクトチームが結成された。

新年度に具体的取り組みが進み、ソフト面は町民皆さんの声を中心に、ハード面の事業は町を中心に事業展開したい。予算面はまちづくり支

援金、若者チャレンジ支援金、一部町費で対応、道路等ハード事業は地方創生資金を導入したい。町のあらゆる組織を上げて、町活性化対策として取り組む。



日本の中心の大城山

町の未来を創る取り組みは

問 ①荒神山公園アラパ奥のプールにハスの花を。②公園北側に桜を植樹しては。
課長 荒神山公園長期5ヶ年計画で総合的に検討したい。

問 井出の清水の名水を「日本ご真ん中水」として販売しては。
課長 前回の試算でコスト的に無理。

荒神山にハイウェイ

オアシス・道の駅創設を

町長 現時点では考えていない



おさむ お谷 睦美 議員

問 日本の中心の中心「ご真ん中町」の荒神山スポーツ公園を「ハイウェイオアシス」とし、「道の駅」を創設。施設の利用向上と、交流人口の増加、産業・観光面からの地域活性化を図る考えは。
課長 既存施設の老朽化が激しく、利用者を危険から守るため、まずは、野球場の整備など長寿命化事業に着手した。道路では幹線道路の整備を優先して実施していく考えで、現段階では創設の考えはない。

荒神山公園の桜の木の管理は

問 荒神山の桜は観光面からも、重要と思うが、最近桜の木の幹が白くなっている。その原因と対策は。
課長 老木になるとカイガラムシが寄生し、菌が付く。薬剤防除を行っている。今後診断を受け適切な処置を行いたい。

ふるさと農村公園「グリーンビレッジ横川」の運営体制は

問 この4月から指定管理者が変わるが、開業日、雇用状況は。
課長 従前・新規の社員ら32人体制で開業する。町内雇用は、28人で8人増となる。土恋処よこかわは、地元交流や移住ニーズ等の調整のため町

も関与しながら進めていきたい。
問 地域おこし協力隊の役割は。
課長 かやぶきの館では、地域農産物の自給率を高めるため、農業団体と連携した供給体制の強化や情報発信を担ってもらう。



指定管理者が変更になった「かやぶきの館」

問 辰野町消防団のあり方は
問 ポンプ操法・ラッパ吹奏大会取り止め後の、消防団の地域における活動方針は。
課長 地域連携や要配慮者の安全確認・避難誘導などの現場に役立つ訓練を行う。資格取得等も訓練の一部に取り入れ、地域や企業でも生かせる技能訓練も実施して行きたい。

町長が描く辰野町の将来像は

町長 町民が幸せを実感でき
魅力を作り出す町を目指したい



ほりうち たけお 議員
堀内 武男

町の教育行政に対する 施策は

問 「教育立町辰野」として目指すところ及び重点施策は。

教育長 力強く生き抜き、自立できる力、及び健やかな心、郷土を愛する心の醸成を目指している。

課長 計画は概ね順調に推移。年度ごとに事業の進行状況などを把握して、行財政改革推進委員会などで適宜に見直している。適切な業績評価指標の設定も必要と考えている。

問 少子化社会解消に向けての施策は。

課長 子育てしやすい環境づくり、婚活、移住定住施策など、第五次総合計画にある多彩な施策を多面的に・重点的に進めている。

問 Eサミットの狙いと目指すところは。

教育長 子どもによりよ

い教育環境を作り、町内で教育が完結し、町内に職を求め一つのサイクルを目指す。

福祉事業体制は

問 高齢化社会に対する福祉事業の基本的な考え及び施策は。

課長 地域包括ケアシステムの深化・推進及び、容態に応じたサービスの提供を図る。

問 介護に携わる要員確保に向けた施策は。

課長 若い職員の確保が課題であり、介護職員処遇改善加算を適用し、処遇改善を図る。

上水道行政の考えは

問 改正水道法の骨子は何か。

課長 課題を掘り下げ、事業の基盤強化と、安全な水を安心・安定的に供給するための改正で、官民連携がある。

問 上水道事業の民営化に対する考えは。

町長 当面は民間業者による水道事業の運営は考えていない。

最終処分場問題、 トップ同士の 意見交換を

町長 地元の皆さんと
共同歩調で



むかいやま ひかる 議員
向山 光

は、3年連続で現地調査費の執行を見送り、一方で、新たに地下水の調査費を盛った。調査だけで1億円を大きく超える予算であり、事態は重要な局面を迎えている。トップ同士の意見交換を。

町長 組合との膠着状態を打開するのに必要なことも考えられるが、事態が急激に悪化することも懸念する。先走ることなく、建設阻止期成同盟会と、しっかりと作戦を練りたい。



影響が懸念される井出の清水

問 板沢から続く塩嶺累層は、地下水を溜めやすい地層が井出の清水方面へ傾いているという。12月の塩嶺累層の勉強会の成果は。

町長 30年前の客観的な調査結果で、いくつもの断層がある等、不安要素を確認できた。湖周行政事務組合で

森林の整備・活用は

問 官行造林をはじめ、50年を越える分収造林が多く戻ってくる。民有林を含め、有効活用に向けた管理の展望は。

課長 各山林関係者と情報共有し、森林経営計画を立て、搬出間伐施策をして木材の売り上げを期待したい。

問 外国資本からの買い占め防止等を目的に水源林保護協定を進める考えは。

課長 町民の水保全の意識は高く、あえて協定を結ぶ必要はないと考える。

子どもの虐待防止への 町の対応は

問 警察や弁護士との連携も必要では。

教育長 警察も入って、関係する機関が連携して情報共有、対応している。弁護士との連携にも注目したい。

問 子どもの人権を守るため、職員のコンプライアンス(法令順守)やメンタルヘルズ対策が重要では。

課長 情報共有の啓発や研修等を行っている。ストレスチェックや産業医との面談も実施している。

病院事務長 病院でマニユアルを見直している。

町社協の体制確立や 財源確保への 取り組みは

町として積極的に
関与していく



ねほしお 根橋としあ 議員

町がオーナーである
町社協に対する管理・
監督のあり方は

問 辰野町社会福祉協議会（町社協）は町が唯一の出資者であり、オーナーの立場から経営状況や財政状態を的確に把握して、適切な指導監督を行う必要があると考えるが、今後の取り組み方針

は。

町長 町社協は町と連携して多くの事業を実施し、地域福祉を中心となつて推進している中核的な団体であるが、経営状況が厳しいことは認識している。町社協の経営動向は町の政策や財政に深刻な影響があるので、今後速やかに町として関与していきたい。

問 町社協の会費として、町民から一人年額千円を徴収しているが、権利義務については定款等に規定がなく曖昧である。改善するべきと考えるが。

課長 規程はあるが定款に定めはなく、権利義務関係などについて今後検討したい。

指定管理業務に関する
事業報告の第三者に
よる評価は

問 かやぶきの館等の指定管理業務の事業報告書の評価は、現在町の内部組織による評価になっているが、第三者を含めた

評価委員会等を新たに組織して評価し、経営改善を進めるべきと考えるが。

課長 毎年度指定管理者からは事業報告書が町長に提出されるが、その評価は町職員で組織している選定委員会のメンバーで行っている。指摘のとおり外部専門家を含めた評価は有意義と考えるので、今後その方向で検討したい。

横川川の農業用水の
取水対策は

問 横川川は近年河床が年々低下し、流水面が用水の取り入れ口より低くなって、取水が困難になっている。根本的な対策が必要になっているが、今後の対応方針は。

課長 県に照会したところ、農地耕作条件改善事業で取水関連事業の実施が可能であるようだが、農地の集約が条件となっているなど難しい面もあり、今後検討していきたい。

児童虐待の現状は

教育長
心配な子もいたが、
大事に至らなかつた



しのひら りょうへい 議員

幼児教育
無償化の対応は

問 無償化による町の財政負担額は。

課長 32年度から年間約6600万円を新たに町が負担することになる。

問 町単独事業で保育料の負担軽減措置がある。引き続き無償で良いか。合わせて延長保育も無償化出来ないか。

課長 軽減措置として、同時通園の場合、第2子は半額、第3子以降は無償としている。新たな負担が生じないよう考える。安易に延長保育を利

用しないよう慎重に検討したい。

児童虐待の現状は

問 当町の児童虐待の現状把握と防止対策は。

教育長 保育園・学校で体にあざや傷がある児童や一時保護した児童もいたが、大事には至らなかった。心配な子どもは関係機関と連携し情報を共有しながら、早期発見・早期対応に努めている。

問 野田市の事件から何を学び何を伝えるか。

教育長 秘密なアンケートを開示した事が虐待死の原因。一つ目は、「守るべき存在は誰なのか」を認識することが大切。二つ目は、「開示しても問題ないか」確認する必要がある。三つ目は、

各機関の連携が取れていなかった。この事件を「他山の石」にして、今後教育委員会も考えていく。

民法「懲戒権」は

問 体罰を認める「懲戒権」、今の時代に合っていると思うか。

教育長 明治に作られた今の時代に合わない部分がある。「しかる」と「おこる」は違う。自分より弱い立場の幼児や子どもに対し、殴る・蹴るの行為は絶対あってはならない。

問 大人の不作为で女の子の命を救えなかつた。町長の思いは。

町長 SOSを出せない子どももいる。背後の異状を発見するのが周りの責任。子育ては家庭、学校、地域社会の力が大切。子どもたちの登下校時の異状を発見してくれるのも地域の方々。隣近所の付き合いが希薄になっているが、最後は地域社会が頼りになる。

自転車通学、

警察からの交通指導を

教育長

今後、その様に検討していく



議員 津 恵 瀬 成

自転車保険加入促進を

問 今まで町内での自転車事故の事例はあるか。また自転車通学の中学生、自転車通勤の職員の自転車事故例はあるか。
課長 辰野管内は平成26年から30年に10件・10人の自転車事故。中学生は昨年2件の事故。

問 中学校で自転車通学の生徒に対して、交通指導は実施しているか。
教育長 各学年から安全係の先生が指導にあたっている。
問 自転車通学の保護者に対しての指導は、どの様にされているか。
教育長 年1回4月の保護者会の折に、自転車通学の注意と保険の話をしている。
要望 年1回警察の交通指導をきちんとしていくべきである。

問 町職員が勤務中に自転車に乗ることはあるか。
課長 公務で乗ることはない。
風疹ワクチン無料接種
問 風疹ワクチン無料接種の今後の流れは。
課長 現在39歳から56歳の男性を対象に、クーポン券を配布。抗体検査を行い、抗体の少ない人に接種の実施をしていく。
問 町内対象者数は。
課長 2213人。
問 接種の実施確認は。
課長 実施状況は、医療機関や国保連合会から連絡がくる。
問 居住する自治体以外でも検査、接種可能なのか。
課長 全国医療機関と契約し行う事ができる。
問 昼間働いている人は、平日受ける時間が少ない。夜間も受けられる体制づくりを。
課長 ガイドラインの中にある。辰野病院は協力体制を行う。

人口減少対策に 結婚支援事業は 大切だが

町長 婚姻数を増やす対策の重要性を感じている



議員 美 是 山 寺 美 子

問 出生数の推移、社会福祉協議会委託の結婚支援事業の成果は。
課長 2012年度は婚姻75件、出産132人、昨年度は65件、106人と減少。今年度の成婚はゼロ。
問 新年度結婚支援事業の町の対応は。
課長 婚活イベントの出



空き店舗を活用した加工施設

会い事業はまちづくり政策課で企画し、県など広域のマッチングシステムの出会いは町社協に委託する。
問 出生数減に伴う数年後の保育園、小学校のあり方は。
教育長 どんな形態が良いのか結論には達していないが、人間関係の輪を徐々に広げる環境は維持したい。
要望 早めの対応策を考えておく必要がある。

地域食材加工施設の 運営事業は

問 新年度計画の地域食材加工施設。開設の目的と規模は。
課長 食材の加工を考え

新規事業 健康ポイントの内容は

課長 辰野町国民健康保険の加入者を対象に、保険事業の参加に応じてポイントを付け、辰野町共通商品券に交換できる事業。
住民に検診など健康意識を持ってもらい、早期発見、早期治療で医療費の抑制につなげたい。

ている人達の交流の場と、お試し加工のできる形態を考えている。場所は下辰野の空き店舗を活用し、まずジャムやドレッシングなど、缶詰、瓶詰め製造の許可を取りたい。
問 辰野駅前開発の進み具合と、国道153号宮所地籍の改良状況は。
課長 駅前まちづくり協議会が町へプランを提出予定。具体的事業を検討して県に申請したい。また国道153号宮所「高畑」から「小横川」信号機間の東側に歩道を作る予定で進行中である。

皇位継承に伴う10連休、町の業務対応は

町長 住民生活に支障が無いよう
対策を進めている



みやした たくし 議員
宮下 敏夫

問 4月末からの10連休。役場業務とごみ収集の対応は。
課長 戸籍受付のみ宿直で対応。可燃ごみは通常通りの収集で影響はないとみている。
問 保育園・学童クラブの対応は。
教育長 4月27日は従来どおりとし、30日と5月

2日は、4月に保護者の希望を聞き対応する予定。
問 10連休になり、猛暑対策による学校の夏休み延長への影響はないか。
教育長 大幅な拡大は出来ないが、2〜3日程度は延ばせる。
問 病院の診療日は。
病院事務長 通常診療日の4月27日ほか、5月2日も診療日として対応する。



マイナンバーカードの見本

マイナンバーカード 交付申請は
問 マイナンバーカード交付実績と活用状況は。
課長 2月末で2112枚。上伊那では3月にカードを使いコンビニ交付ができる証明書を拡大

した。
問 簡単交付申請の効果は。
課長 確定申告期間にコーナーを特設し、11日までに372件の登録があった。

県立高校「学びの改革」の推進状況は

問 高校再編で辰野高校は中山間地存立校に指定されたが、今後の取り組みは。
課長 旧第8通学区内の中学卒業生は減少傾向。きめ細かな指導と地域性を出すことが必要で、新年度は辰野高校等への教育環境支援負担金を増額する。

また、辰高卒業の役場職員等をつくる町役場末来会議では、校長らと意見交換を実施し、地域連携策を検討している。
生徒提案イベント補助をするなど支援をさらに充実させ、地域住民との意見交換の場を広める。存続に向けさらに活動強化を推進したい。

武居町政二年次「辰野の未来」を意図した事業は

町長 企業誘致・道路網整備・教育施設の充実等を計画



うゑ のりみち 議員
宇治 徳庚

図した事業は。

問 武居町政一年次総括と二年次への思いは。
町長 板沢最終処分場の反対、川島小の存続、辰野病院の経営対応など多くの課題を抱えてスタートしたが、町民の幸せを掲げた基本姿勢はぶれずに行ってきた。

図した事業は。
課長 後期基本計画の重点プロジェクト4分野と緊急性の高い分野に配分。未来への投資としては企業誘致のための北沢東地区の発掘調査、駅前整備を含めた道路網整備、保育園・学校の設備充実などを予算計上した。
問 ふるさと納税の国規制対応と実態は。
課長 平成29年に国の指摘で一部家電製品を削除し、制度に沿った運用している。予算は8000万円、本年度はすでにこれを超えている。豊作だったマツタケは3800万円(約48%)である。

二年次はNHKお墨付きの「日本の中心の中心」の町づくりを始め、町民の幸せを念頭に置き、報道の皆さんの力も借りて行政を前に進めて行きたい。
問 新年度予算編成のポイント、辰野の未来を意

図した事業は。
課長 公共施設等総合計画(建築物)の予定は。
課長 荒神山公園野球場、辰野西学童クラブ新築を計画。小野図書館は

閉鎖の方向で検討し、建物は図書館機能と切り離して新たな活用を地元と協議したい。土づくりセンターは設備等の老朽化が進んでいるが、クリーンセンターたつの設備を譲り受け、当面継続し先行きは地元と協議のうえ進めていきたい。

安協のあり方検討する

問 各分野で進むなり手不足で町職員の状況は。
課長 一般職は33人の応募で、新卒5人、社会人枠4人を採用。産休・育休が6人あり、一部は臨時職員で補いたい。再任用は5人が退職し、新たに9人が再任用となる。

問 奉仕団の実態は。
課長 新年度あり方検討委員会の設置を予算計上した。
問 交通安全協議会の状況は。
課長 交通安全協議会支部の状況は、休会・脱会があり、区長会であり方等を検討したい。

また、辰高卒業の役場職員等をつくる町役場末来会議では、校長らと意見交換を実施し、地域連携策を検討している。
生徒提案イベント補助をするなど支援をさらに充実させ、地域住民との意見交換の場を広める。存続に向けさらに活動強化を推進したい。

「ど真ん中作戦」の

具体的プランは

町長 「ロゴ・マーク」「C I・町名変更」など
9チーム



かきうち けんじ 議員

が落ちているところを、吹き付けコンクリート処理する。蛇石キャンプ場では木橋の架け替えを予定。三級の滝については危険な木橋4橋を来年度改修する予定だ。

辰野の道路計画は

課長 会議で98のアイデアが出た。事務局で10のグループに分け、リーダーを会場で募った。結果9つのチームが出来た。
問 財政的な支援は。
課長 若者チャレンジ補助金10万+α、協働のまちづくり支援金40万円等考えている。

問 ゼロポイント、蛇石、三級の滝などの安全対策は。
課長 ゼロポイント周辺は、アスファルト舗装等の道路整備を考えている。蛇石・三級の滝は、山側斜面のコンクリート

たものになりたい。まず町で計画を立て、その後マスタープランを更新して行く。

問 策定方法は。

課長 14区については懇談会をコンサル等入れ行いたい。

城前の桜の世代交代は

問 何度も、世代交代を訴えて来た。都度、「検討する」との答えだったが、どの辺まで検討したか。



かつての城前線2006年

課長 平成29年度から剪定作業をしている。平成31年度は土地条件、樹種等について専門家、地域住民、桜守り隊等ボランティアの皆さんと検討をしながら、植え替えを計画的に実施する。

辰野バイパス期成同盟会の設立を

町長 将来に向けての組織づくりが必要な時期が来た



くまがい ひさし 議員

課長 伊北インター周辺の慢性的な交通渋滞を考えると、市街地の通過車両を郊外に移すための新たな道路を設けることは、交通安全や災害対策としても大変効果的と考えられる。

問 春日街道先線の延伸計画は羽場から先が全くない。辰野バイパスとして延伸することはできないか。
課長 箕輪バイパスから伊南バイパスまで4車線道路で計画されている。春日街道先線は2車線道路で、かつ国道と県道の違いもあり、伊那建設事務所の見解ではこれを辰野バイパスとして扱うのは難しいとのこと。

意見 県建設部トップの見解では、地域の状況に合わせた計画でよいと言っていることもある。実現性を重要視し、今までの実例にこだわらざるべきでない。
問 昨年国道153号沿線の北大出、羽場、新町、宮木の4区とその道

路委員会が辰野バイパス期成同盟準備会を立ち上げた。町長をトップに据えた期成同盟会を設立できないか。

副町長 国道153号宮所地区の拡幅整備は、2023年度までの計画が立てられた。辰野駅前道路整備計画も住民参加のまちづくり協議会において進められ、最終の提案書が出されるまでになった。

辰野バイパスに関しては伊駒アルプスロードの次に計画されるよう、今から10年後を見据えた活動の必要性を感じている。また、今進めている辰野町道路網計画に盛り込まれるとも考えている。将来を見据えると期成同盟会の組織作りが必要な時期が来たと思う。

その他の質問項目

「若者が町に帰ってくるためには何が必要か」を地方と都会の暮らしの比較で行った。

辰野病院の 産科復活・院内助産 の考えは

町長 医師確保が難しく不可能



瀬戸 純 議員

問 妊娠・出産から子育てへ途切れることのない支援を、と町は言っているが、町内には出産する場所がない。辰野病院で出産ができなくなると13年が経つ。

公立病院としての産科復活や院内助産、助産師が出産を担える、助産院の誘致の考えは。



辰野病院内産婦人科案内版

病院事務長

産科復活

は、強い要望があるが、産婦人科・小児科医師確保が難しく不可能。院内助産もできない。

助産院は嘱託医師等を定めなければならぬので、かなり厳しい状況。

在宅介護者へ 紙おむつ等購入費助成を

問 近隣市町村では、すでに実施している自治体が多い。在宅介護が進むと、おむつ等の購入は経済的負担がますます増えると考えられる。紙おむつや尿とりパット購入費への助成を要望する。

町長 消費税引き上げで低所得者世帯の負担は増えると思われる。検討して行きたい。

妊娠を希望する 女性への風疹 予防接種助成は

問 来年度予算では、年齢を特定した男性に限った風疹の予防接種費助成が予算化されているが、女性に対しての助成はない。抗体検査の抗体価が低い場合のみの接種なので、人的には少ないはずだ。

妊娠を希望する女性への風疹予防接種費の助成を要望する。

課長 必要だと思うが、国の制度に従ってやっているの、助成は考えていない。

子どもへのインフルエンザ 予防接種費の助成を

問 現在65歳以上の高齢者にはインフルエンザ予防接種費の一部助成がある。中学生以下の子どもの助成の考えは。

町長 高い発病予防効果がない。任意接種への助成は現時点では考えていない。

1月16日臨時議会開催

平成30年度一般会計補正予算第10号は、定住促進奨励金1千万円を増額するもの。

町道路線1路線の認定。以上2議案、全員一致で可決。

4月12日臨時議会開催

平成30年度一般会計補正予算第14号は、両小野小学校の空調設置工事の負担金等に係る専決補正。各小中学校空調設置請負工事契約4件について、業者が決定したため、議決するものです。以上5議案、全員一致で可決。

1月31日町村議会広報研修会

塩尻市長野県総合教育センターにおいて広報委員3名が参加。

議会広報サポーターの芳野政明氏「議会広報の基本と編集 議会の存在感を高め、住民との関係性を築く」の講演がありました。

クリニックでは、「議会だよりの意義と目的 誰のための何のための広報か」編集方針を明確にし、主人公は読者（住民）の立場で、「住民ニーズと伝えたいこと」を日常的に収集するなど、今後の課題がはつきりしました。

編集後記

議会広報委員長 向山 光

私たちの任期最後の議会だよりをお届けします。

少しずつ紙面の改革に取り組んできましたが、いかがでしょうか。「見よい読みよい、親しみやすい」というコンセプトに、さらに、読者である町民の皆さんが「何を知りたいか」を意識して編集に心がけてきましたが、毎号、試行錯誤が続いています。

昨年行った住民アンケートでは、議会に関する情報源として、この議会だよりとした回答が30%あったことは、一定の評価をしていただいたものと励みになります。今後ともご意見をお寄せください。

イラストは、本町直弘さん、関野光一さん、協業隊員が協力していただきました。表紙のイラストは、お力添えをありがとうございます。66号から2年間、表紙のイラストを地域にお協力いただき、誠にありがとうございます。お祈りをいたします。

議会広報委員会

委員長 向山 光
副委員長 瀬戸 純
小澤 睦美 中谷 道文
宇治 徳康 成瀬 恵津子